パモジャ
PAMOJA
第41号
青年海外協力隊　巣守　世那
２０２６年　９月２１日発行

7年生の卒業式

7年生の卒業式がありました。この学年は、6年生の時に日本との交流授業を行ったり、日本に興味をもって日本語の授業に来てくれたりと思い出がたくさんあるので寂しいです。

タンザニアは1から7年生まであり（再来年度から6年生まで）2年生、4年生、7年生で国家試験があります。そしてその国家試験に合格しなければ、次の学年に上がることはできず、7年生は中学校に行くことができなくなってしまします。そのため、毎週のようにテストをしたり、土曜日も学校で授業があったりします。その中でも7年生は特に大変で、私の学校では国家試験の当日までの1か月間、学校に泊まって朝7時から夜の10時まで勉強します。（学校によっては泊まらず朝7時から夜の10時まで勉強して帰るところも）この合宿中は、身の回りのこと（洗濯、掃除など）もすべて自分たちで行います。私だったら、疲れてへとへとで家族にも会いたくなるだろうなと思いながら見ていましたが、7 年生はみんな逞しくて驚きました。

卒業式では、5，6年生が卒業生に向けてダンスや太鼓、劇などを発表しました。5，6年生の普段見ることのできない表情や素敵なところが発見できる素敵な機会になりました。卒業生もこの日に向けてみんなでおそろいの服を仕立てたり、髪の毛もかわいくしていたりとうきうきしていました。式の間は、MCがいて激しい音楽がずっと流れているところや、子どもたちのダンスが始まると、周りで見ている保護者や子どもたちがいつの間にか参加していて、みんなで踊っているところにタンザニアらしさを感じました。子どもたち、先生、保護者の方みんながずっと式を楽しんでいて、しんみりすることなく笑顔で帰っていきました。

Hongera　kwa kuhitimu！！（卒業おめでとう！）







おしゃべりしながら洗濯中



マットレスをみんなで運んで、寝床づくり！



芸術大学の学生からの発表も